

事例52 うみそらキッチン

分類： 居場所 アウトリーチ 相談 学習支援 見守り 住民主体 食糧支援

運営団体基本情報

● 運営団体名	社会福祉法人 弘和会	● 代表者名	畝 和弘	● 所在地	石川県輪島市釜屋谷町六字30番地4
● スタッフ構成	地域ボランティア・有償ボランティア	● 運営財源	自主財源		
● 連絡先	TEL: 0768(23)4455 Mail: t.prince@swkouwa.com	● ホームページ(参考情報)	http://www.swkouwa.com/		

新型コロナウイルス感染症拡大前の事業概要

● 対象者層	孤食者・地域住民・要配慮者	● 活動頻度	海空キッチン：2回/週 居場所支援：5日/週	● 活動場所	地域生活支援ウミュードウソラ
● 活動の形態	居場所提供、学習支援、食糧支援	● 平均利用者数	約15人/日	● 利用料金	施設利用料無料・大人1食400円 子供1食100円

【活動の特徴と新型コロナウイルス感染症対策】

具体的な活動	● 新型コロナウイルス感染症拡大前	「ひきこもり問題」「育児の孤立化・虐待問題」「高齢者の孤立問題」「地域コミュニティの希薄化の問題」等の地域課題を地域全体で支える街づくりに寄与することを目的として、「1人で食事を摂っている子供から高齢者まで」全世代を対象とした「うみそらキッチン」を週に2回開催すると同時に、日中は地域の方の居場所としての場を提供していた。
	● 新型コロナウイルス感染症拡大後の取組と工夫	新型コロナウイルス感染症予防のため休止しているこども食堂等を利用していただいていた児童や、高齢者への支援を考えました。まず児童に対しては、輪島市社会福祉協議会と連携し、3月中旬から週1回、1回につき約55～75食を準備しました。配布場所を、市内5か所に設置し、学校が休校中の児童らの昼食用に配布しました。また、日中に居場所として施設利用を行っていた独居の高齢者に対して、安否確認を兼ね、お弁当の配達を行いました。石川県輪島市は、都市部に比べると地縁意識が強い地域もありますが、働き方や住居形態の変化、家庭や地域内の相互扶助機能の低下によりひきこもりや社会的孤立に陥っている方も少なくなく、その中でのコロナウイルス感染による状況悪化や虐待の発生を防ぐことを目的として以上の取組を行いました。
	● 取組の効果	学校や、多くの活動、行事が中止となることで、配慮の必要のある児童や高齢者の健康状態や状況が見えないという課題に対応できた。公的なサービスを利用していない独居の高齢者への食の確保及びこころのケアとしての効果にも尽力できた。

● 活動経費	自主財源・フードバンク 赤い羽根「臨時休校中の子どもと家族を支えよう 緊急支援活動助成事業」
● その他、特記事項	輪島市社会福祉協議会・新聞・SNSでの情報発信に力を入れ、利用しやすい環境作りを行いました。その結果、現在も施設利用希望の問い合わせが関係機関や住民から入っており、コロナウイルス感染対策や新しい生活様式を考慮した開催を検討しています。地域課題である、8050問題、生活困窮者支援、虐待問題、ひきこもり等の発見や予防に寄与していきたいと今後も取組みを継続していきたいです。 ★市町村基本情報 石川県輪島市 石川県北部の市街近郊に位置する。 人口 25,868人 高齢化率 45% (2020.4末)

